

裁判員経験者のご意見・ご感想を紹介します。

～『裁判員経験者と法曹三者との意見交換会』を実施しました～

長期間の審理でも、量刑まで裁判官としっかり評議できました。被告人の人生を左右する判断で責任は重いものと感じますが、信念をもって判断すれば後悔するようなことにはならないのではないかと思います。（60代男性）

以前傍聴した裁判とは違い、普段使う言葉で分かりやすい説明がされており、「開かれた裁判」になっていると感じました。裁判官がちゃんと導いてくれるので、堅苦しく考えず、参加してみてください。（60代男性）

法曹三者全員が誰にでも分かりやすい資料を使い、説明されていました。専門用語は裁判官がきちんと説明してくれました。裁判員それぞれに違う考え方があることを実感しました。（40代男性）

評議中、裁判員から出てくる色々な意見を、裁判官がしっかりまとめてくれました。自分の仕事にも参考になりそうです。職場を休むことについては、特別休暇を取得したので問題ありませんでした。（50代男性）

検察官や弁護人が作成する冒頭陳述メモが分かりやすかったです。法的なことが分からなくても自分の経験で意見が言えました。全員で話し合っただけで結論を出すので、自分だけが責任を感じなくていい制度であると感じました。（50代男性）

帰宅してからも事件について考えたり、起こった事実を自分の身内に照らして考えることができました。量刑の場面では、過去の裁判例を参考にする一方で、社会の声・自分の意見も述べました。（50代女性）

令和4年6月21日実施
熊本地方裁判所

- （参加者）
- ・裁判員経験者6名
 - ・裁判官2名
 - ・検察官1名
 - ・弁護士1名

～～ 意見交換会とは ～～

実際に裁判員裁判を経験された方に感想や意見を語っていただき、国民みなさんの裁判員制度への意欲を高め、不安を解消することや制度の運用改善を目的としています。

今回は、高校生が意見交換会の様子を見学しました。

令和5年以降、18歳・19歳の方々にも裁判員裁判に参加していただくことになったんだニャ！



裁判員経験者に対して、傍聴した高校生からたくさんの質問がされました。

Q: 裁判員を経験して良かったことは何ですか？

A: 人の人生を左右する重大な手続で、判決まで出せたことはとても達成感がありましたし、裁判の仕組みについてもよく分かりました。

Q: 裁判員制度にかかわって疲れはどうでしたか？

A: 精神的な疲れはありましたが、肉体的には、審理中にも適宜休憩があるので、大丈夫でした。

Q: 真実は明らかになりましたか？

A: テレビドラマのようにはいきませんでした。分かる範囲で全員でよく考えて結論を出しました。

